

優良現場の紹介

1. 表彰年度：平成25年度
2. 事業場名：清水・西江特定建設工事共同企業体 新宝浜トンネル南作業所
3. 工事名：一般国道336号 広尾町 新宝浜トンネル南工事
4. 発注者名：国土交通省 北海道開発局 帯広開発建設部
5. 工期：平成24年1月25日～平成26年8月29日

6. 工事概要：

北海道広尾町の一般国道336号襟広防災は落石、岩石崩壊等の災害危険箇所に対する防災対策事業であり、当該地区に新たにトンネルを建設し現国道を切り替え、危険箇所を回避するものである。当工事は新宝浜トンネル(全長2,438m)の南側工区1,466mを施工する。

施工場所：北海道 広尾町



7. 表彰の対象となった具体的内容

1) 火薬類の保安全管理体制

- ・所長方針を掲示し、これに基づき具体的措置を取っている。また、火薬類管理に関する安全標語を募集し、入賞者や火薬類取扱い模範者を表彰、優秀作品及び顔写真を掲示するなど、作業者の安全意識啓発を促す工夫が見られる。
- ・あらかじめ降雨による交通規制を想定した退避計画を策定、緊急資材や非常用食材を備蓄、火薬類の消費、返納及び現場退避等について手順化し災害に備えている。

2) 爆薬庫・火工品庫・取扱所・火工所の管理

- ・WEBカメラによる監視を行い、事務所においてモニター管理されている。自動警報装置の作動時は、衛星回線を介した事務所への警報のみならず、保安責任者等の携帯電話にも自動的にメール送信されるシステムを構築している。

3) 発破場所の管理、火薬類の運搬

- ・発破母線のスケールテープによる離隔標示とリボンによる「見える化」の工夫による仮設電気配線との離隔の確保。切羽監視員を配置、不発残留薬の回収に努めている。
- ・火薬運搬車両の車体に運搬員の顔写真入り氏名を掲示することで、責任の明確化と盗難防止に努めている。

